

兵庫県下の経済動向

平成24年10月

但馬銀行
TAJIMA BANK

目 次

概 況	1
生 産	2
個 人 消 費	4
設 備 投 資	6
住 宅 投 資	8
公 共 工 事	9
貿 易	10
物 価	11
雇 用	13
信 用 保 証	15
金 融	16
倒 産	17

【概 況】

最近の県内景気は、持ち直しの動きもみられるが、なお足踏み状態にある。海外経済の減速等を背景に、輸出はやや弱含んで推移している。生産は横ばい圏内で推移している。一方で、個人消費は一部に弱めの動きがみられるものの、全体としては緩やかに持ち直している。雇用・所得環境は厳しさを残しつつも、改善基調が続いている。この間、住宅投資や設備投資は持ち直している。公共投資は増加している。

需要面の動きをみると、個人消費は、百貨店売上高が2か月連続で前年を上回った。

乗用車販売は、軽自動車が増加したものの、普通乗用車、小型乗用車が減少し、全体では12か月ぶりに前年を下回った。家電販売は、スマートフォン等が引き続き好調であるものの、薄型テレビが大幅な減少を続けていることから、全体としても低調に推移している。

設備投資は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業は増加計画となっている。

住宅投資は、持家、貸家、分譲が減少し、全体では4か月ぶりに前年を下回った。

公共工事は、国、独立行政法人等、神戸市を除く市町が増加したものの、兵庫県、神戸市、その他の団体が減少したことから、2か月連続で前年を下回った。

貿易は、輸出が米国向けが増加したものの、EUおよび中国を含むアジア向けが減少し、9か月連続で前年を下回った。また、輸入については3か月連続で前年を下回った。

生産活動は、鉱工業生産指数でみると、一般機械工業、電子部品・デバイス工業、食料品工業などの低下により2か月ぶりに低下した。

雇用関係では、有効求人倍率は前月を下回り、新規求人数は前年を上回った。

また、所定外労働時間、常用労働者数は前年を下回り、一人当たり名目賃金は前年を上回った。

金融情勢は、預金が前年を上回って推移しているものの、貸出については前年並みの水準で推移している。

企業倒産は、件数は前月および前年を下回り、金額は前月および前年を上回った。

兵庫DI及び兵庫CIから見た県内の景気動向

7月の兵庫DIは、先行57.1%、一致指数55.6%、遅行指数43.8%となった。

7月の兵庫CIは、先行指数90.3、一致指数91.5、遅行指数102.6となった。

兵庫DIは、先行指数が2か月ぶり、一致指数が5か月ぶりに好不況の判断の分かれ目となる50%を上回り、遅行指数が5か月連続で50%を下回った。

一方、兵庫CIは、先行指数が2か月連続で前月差減となり、一致指数が2か月ぶり、遅行指数が3か月ぶりに前月差増となった。

県統計課は基調判断を「足踏み」としている。

*兵庫DIと兵庫CI・・・兵庫県内の経済指標から景気の状態を導く指数。県景気変動指数(兵庫DI)は50%が好不況の別れ目で、景気の拡張、後退などを判断する。県景気総合指数(兵庫CI)は景気変動の大きさを測定し、指数の前月との差の大小をみる。

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【生 産】

8月の県鉱工業生産指数(平成17年=100、季節調整済、速報)は91.5、前月比4.4%低下。出荷指数は89.8、同4.4%低下。在庫指数は132.7、同0.5%低下。在庫率は144.5、同4.9%上昇。生産指数は2か月ぶり、出荷指数は2か月ぶりに低下、在庫指数は4か月連続で低下した。

前年同月比(原指数)では、生産が7.8%減で6か月連続、出荷は8.7%減で7か月連続で低下した。また在庫は8.7%増で26か月連続で上昇した。

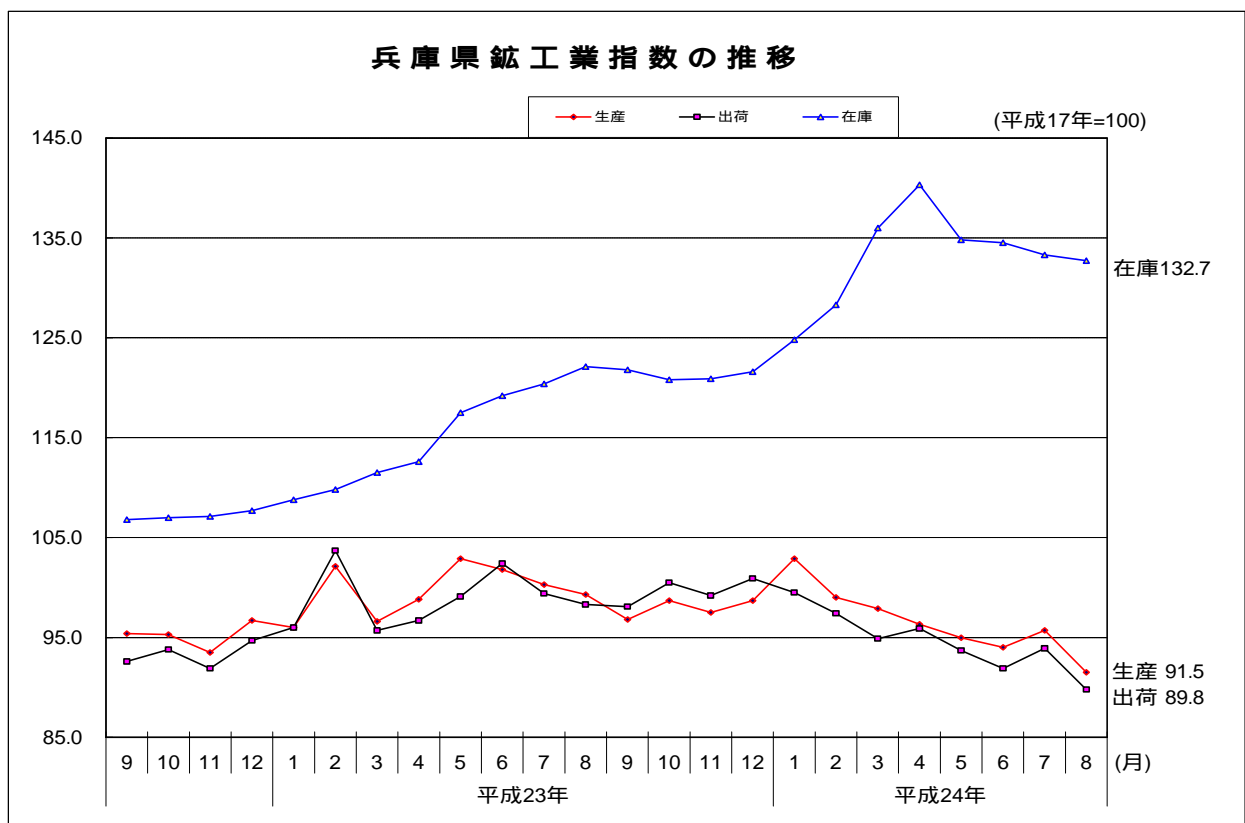
主要業種の生産動向を対前月比で見ると、旅客車等の「輸送機械」が8.7%、一般用蒸気タービン発電機等の「電気機械」が6.7%、カーナビゲーション等の「情報通信機械」が3.2%、鋼半製品等の「鉄鋼」が2.3%、ガス風呂がま等の「金属製品」が1.5%、各々上昇し、ショベル系掘削機械等の「一般機械」が17.5%、アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)等の「電子部品・デバイス」が9.3%、清酒等の「食料品」が9.0%、化粧品等の「化学」が0.2%、各々低下した。

県統計課は、基調判断を「やや弱い動き」に据え置いた。

8月の兵庫県鉱工業指数 (速報、平成17年=100)

区 分	季節調整 済指数	対前月比 増減(%)	原 指 数	
				対前年同月 比増減(%)
生 産	91.5	4.4	88.1	7.8
出 荷	89.8	4.4	88.4	8.7
在 庫	132.7	0.5	132.9	8.7
在 庫 率	144.5	4.9	150.7	12.1

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課



8月の県内鉱工業生産指数(主要9業種の動向)

(速報、平成17年=100)

業 種	指 数	対前月比 増減 %	指数の上昇又は低下に寄与した品目	
鉄 鋼	89.4	2.3	上昇	鋼半製品、粗鋼、銑鉄、普通鋼鋼帯
			低下	鋳鉄管、亜鉛めっき鋼板、特殊鋼冷間仕上鋼材(圧延鋼材)、ブリキ
金属製品	79.0	1.5	上昇	ガス風呂がま、PC鋼より線、石油温水給湯暖房機、ガス湯沸器
			低下	超硬チップ、うす板ばね、鋼索、鋼管製管継手
一般機械	89.4	17.5	上昇	蒸気タービン部品、反作用機器、熱交換器、プレイバックロボット
			低下	ショベル系掘削機械、C(W)BN 工具、一般用蒸気タービン、液圧プレス
電気機械	128.6	6.7	上昇	一般用タービン発電機、太陽電池モジュール、クッキングヒーター、リチウムイオン蓄電池
			低下	開閉制御装置、電力変換装置、非標準油入り変圧器(10000kVA以上)、高圧遮断器
情報通信機械	152.5	3.2	上昇	カーナビゲーション、陸上移動通信装置(携帯電話以外)、携帯電話、携帯電話、テレメータ・テレコントロール、
			低下	パーソナルコンピュータ、搬送装置、カーオーディオ、固定通信装置
電子部品デバイス	76.7	9.3	上昇	シリコントランジスタ(1W以上)、線形半導体集積回路、アクティブ型液晶素子(7.7インチ未満)、スイッチング電源
			低下	アクティブ型液晶素子(7.7インチ以上)、シリコンウエハ、電界効果型トランジスタ、レーザダイオード
輸送機械	76.3	8.7	上昇	船用ディーゼル機関、旅客車、特装ポデー、駆動伝道・操縦装置部品
			低下	二輪自動車(125ml超)、二輪自動車部品、鋼船、ショベルトラック
化 学	84.6	0.2	上昇	医薬品、石油化学品製造用触媒、塩化ビニル(モノマー)、酸化チタン
			低下	化粧品、自動車排気ガス浄化用触媒、無水酢酸、塩化ビニル樹脂
食 料 品	94.2	9.0	上昇	塩、小麦粉、ビール類、チーズ
			低下	清酒、砂糖、パン類、配合飼料

資料：兵庫県企画管理部管理局統計課

【個人消費】『百貨店売上』

兵庫県百貨店協会がまとめた9月の県内百貨店売上高は、前年同月比2.1%増の146億89百万円で、2か月連続で前年を上回った。改装効果で売り上げを伸ばす店舗が目立った。

神戸地区は2.6%増。大丸神戸店が売り上げ割合の大きい衣料品や食料品で前年水準を上回り、全体を押し上げた。品目別では、婦人服が一部店舗で残暑が影響し、秋物が低調だった一方、大丸神戸店は改装した高級ブランド店を中心に売れ行きがよく、地区全体を押し上げた。また、食料品も4月末の同店の改装効果が続き、全体をけん引した。

姫路・加古川地区は0.4%減。秋物が振るわず、婦人・紳士服ともに前年水準を上回った。食料品では、ヤマトヤシキ加古川店が5月に食品売り場を改装した効果などでプラスとなった。

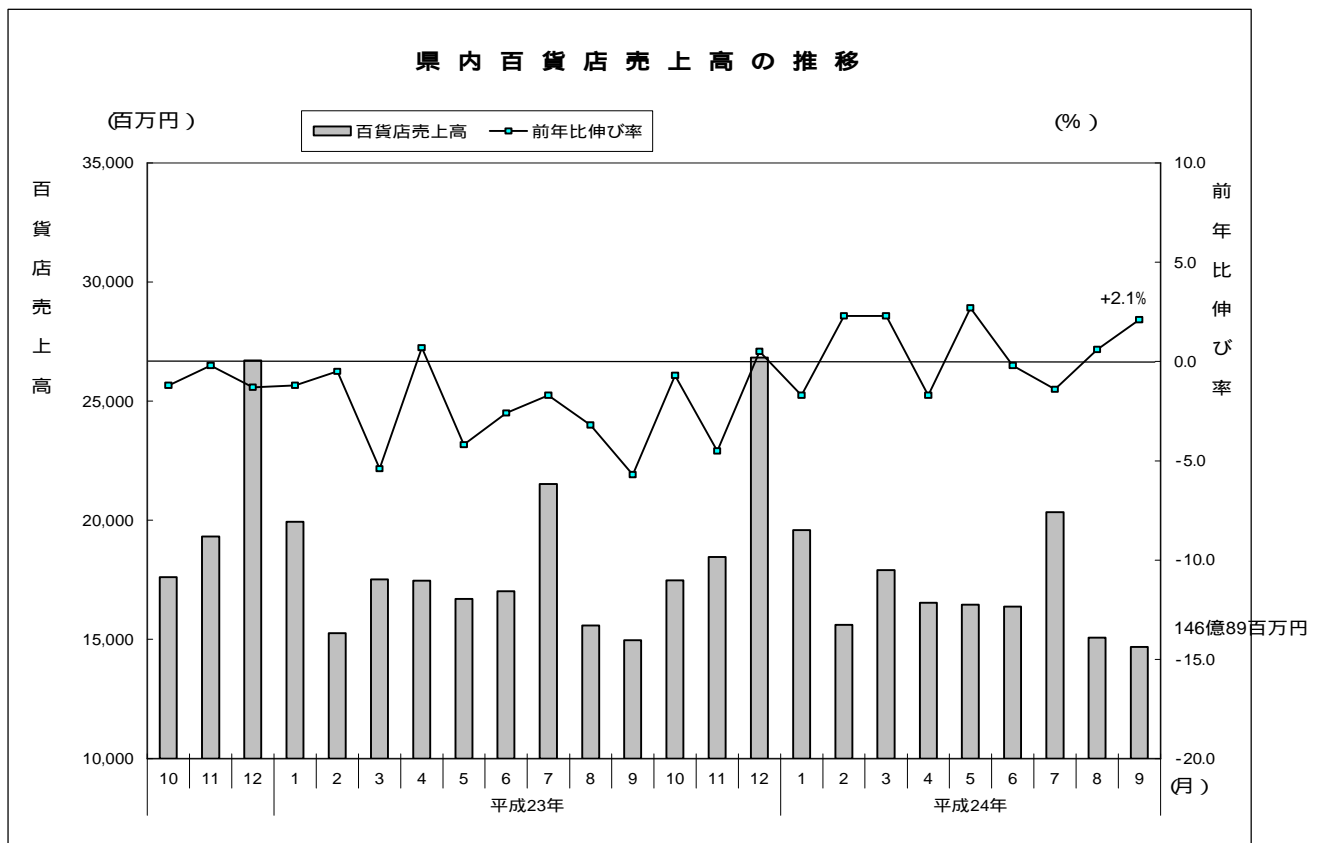
9月の県内百貨店売上高

品目	神戸	姫路	合計
紳士服・洋品	516(1.5)	148(2.9)	665(0.5)
婦人服・洋品	3,855(4.5)	627(2.9)	4,483(3.4)
子供服・洋品	266(1.0)	84(1.0)	351(1.0)
身の回り品	1,303(6.1)	242(10.8)	1,545(6.9)
家庭用品	507(5.8)	156(8.7)	663(6.5)
食料品	3,397(1.2)	619(3.0)	4,016(1.4)
雑貨	1,684(2.5)	349(8.3)	2,034(0.5)
その他	632(1.5)	295(6.8)	928(3.1)
計	12,164(2.6)	2,525(1.0)	14,689(2.1)

* 単位百万円、未満切捨て。()内は前年同月比伸び率%

資料：兵庫県百貨店協会

* 神戸地区には芦屋・宝塚、姫路地区には加古川を含む。



【個人消費】『新車登録』

県内9月の乗用車新車登録台数は17,452台、前年同月比4.3%減と12か月ぶりに前年同月の実績を下回った。

9月の乗用車新車登録を車種別にみると、普通乗用車は5,085台(前年同月比15.2%減)、小型乗用車は5,130台(同4.6%減)、軽乗用車は5,011台(同10.6%増)、乗用車合計で15,226台(同4.2%減)となった。

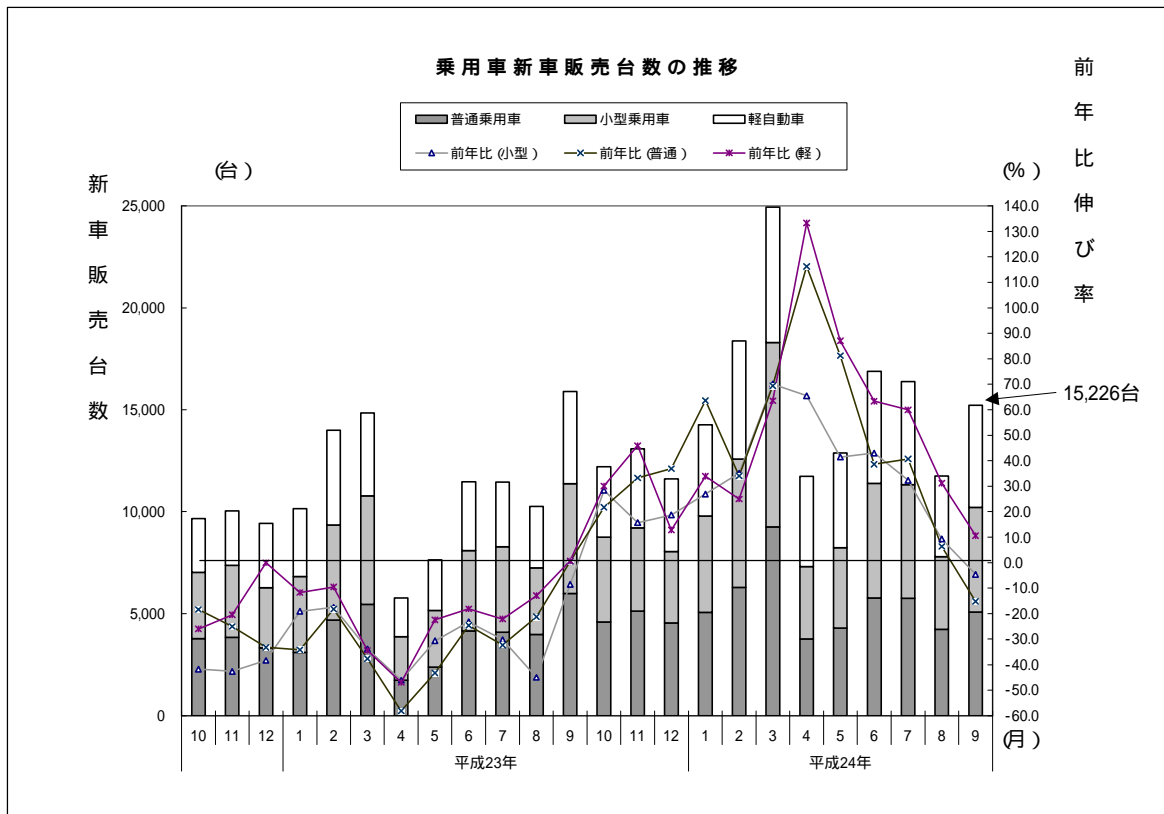
また貨物車等では、普通貨物車は377台(同42.3%増)、小型貨物車は677台(同9.9%増)、軽貨物車は1,139台(同20.5%減)、バスは33台(同65.0%増)となった。

9月の新車販売(登録)台数

(単位：台、%)

車種	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
普通乗用車	5,085	15.2	117,755	14.9
小型乗用車	5,130	4.6	134,432	5.4
軽乗用車	5,011	10.6	125,551	12.4
乗用車合計	15,226	4.2	377,738	3.7
普通貨物車	377	42.3	13,854	13.1
小型貨物車	677	9.9	21,450	5.6
軽貨物車	1,139	20.5	32,650	11.1
貨物車合計	2,193	5.2	67,954	1.9
バス	33	65.0	988	16.8
登録車総計	17,452	4.3	446,680	3.4

資料：自販連兵庫県支部、兵庫県軽自動車協会



【設備投資】

内閣府が10月11日に発表した機械受注統計によると、平成24年8月実績は以下のとおり。

最近の機械受注総額(季節調整値)の動向をみると、24年7月前月比2.6%減の後、8月は同12.6%減の1兆6,573億円となった。

このうち民間設備投資の先行指標である「船舶・電力を除く民需」は、7月前月比4.6%増の後、8月は同3.3%減の7,173億円となった。

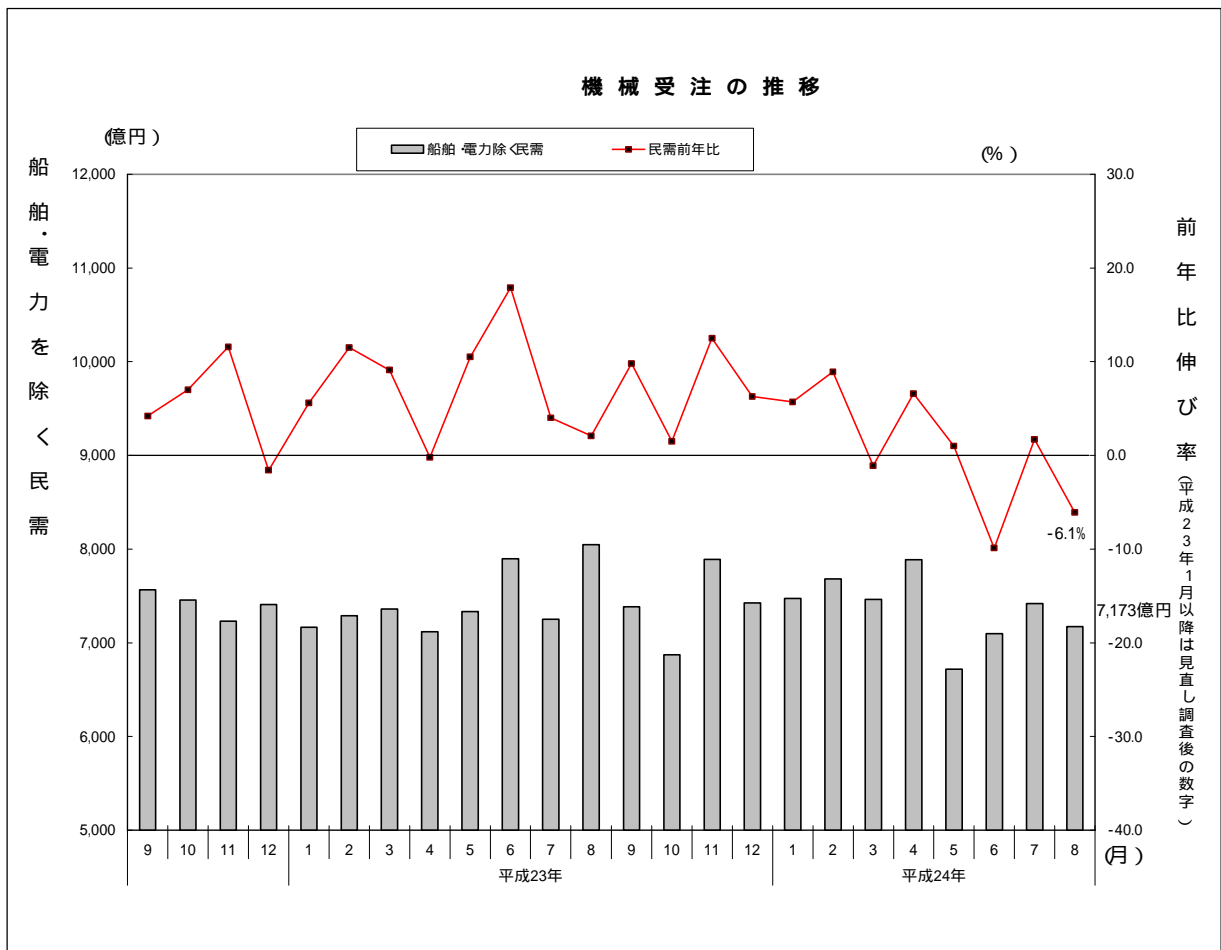
内訳をみると、製造業が同15.1%減の2,790億円、非製造業(船舶・電力を除く)が同3.6%増の4,300億円であった。

製造業民需受注を業種別でみると、前月比で増加したのは15業種中、化学工業(4.6%増)一般機械(4.0%増)食品製造業(4.0%増)等の4業種で、鉄鋼業(72.3%減)その他輸送用機械(70.3%減)石油製品・石炭製品(54.4%減)非鉄金属(49.1%減)造船業(22.7%減)パルプ・紙・紙加工品(19.1%減)等の11業種は減少となった。

一方、非製造業では、前月比で増加したのは12業種中、金融業・保険業(55.7%増)運輸業・郵便業(18.3%増)情報サービス業(6.7%増)卸売業・小売業(5.1%増)等の7業種で、電力業(57.9%減)鉱業・採石業・砂利採取業(37.7%減)リース業(17.8%減)等の5業種は減少となった。

兵庫県下においては、2012年度設備投資額は、非製造業は減少を見込んでいるものの、製造業が増加を見込んでおり、全産業では増加計画となっている。

*全国企業短期経済観測調査(短観)結果 2012年9月 兵庫県
設備投資計画：全産業前年度比+23.4%(製造業+35.4%、非製造業 11.8%)



機械受注統計（平成24年8月分）

	23年 7~9月 実績	10~12月 実績	24年 1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 見通し	24年 5月 実績	6月 実績	7月 実績	8月 実績
受注総額	59,045 (-4.5) [-2.5]	62,834 (6.4) [1.4]	67,292 (7.1) [3.2]	58,815 (-12.6) [-4.0]	57,800 (-1.7) [-1.1]	18,137 (-14.5) [-6.8]	19,477 (7.4) [-10.9]	18,972 (-2.6) [2.6]	16,573 (-12.6) [-18.6]
民需	27,423 (-1.2) [3.6]	27,404 (-0.1) [-0.3]	26,253 (-4.2) [-1.8]	26,542 (1.1) [-5.8]	26,385 (-0.6) [-4.2]	7,901 (-21.0) [-10.6]	8,637 (9.3) [-18.1]	9,009 (4.3) [1.9]	7,779 (-13.7) [-13.7]
” (Ex 船・電)	22,592 (1.6) [5.8]	22,425 (-0.7) [6.7]	22,620 (0.9) [3.3]	21,702 (-4.1) [-1.7]	21,437 (-1.2) [-4.8]	6,719 (-14.8) [1.0]	7,097 (5.6) [-9.9]	7,421 (4.6) [1.7]	7,123 (-3.3) [-6.1]
製造業	9,861 (0.0) [4.4]	9,792 (-0.7) [4.1]	9,804 (0.1) [-0.5]	9,234 (-5.8) [-7.6]	9,323 (1.0) [-4.4]	3,019 (-8.0) [-6.3]	2,933 (-2.9) [-16.2]	3,284 (12.0) [4.0]	2,790 (-15.1) [-18.4]
非製造業 (Ex 船・電)	12,793 (3.6) [7.2]	12,728 (-0.5) [8.6]	12,791 (0.5) [6.4]	12,794 (0.0) [3.1]	12,350 (-3.5) [-4.3]	4,135 (-6.4) [7.6]	4,242 (2.6) [-4.6]	4,152 (-2.1) [-1.0]	4,300 (3.6) [3.9]
官公需	6,166 (-2.4) [-11.0]	6,756 (9.6) [1.0]	7,496 (10.9) [30.6]	7,811 (4.2) [26.7]	6,668 (-14.6) [10.1]	2,250 (-21.8) [4.7]	2,683 (19.2) [26.0]	2,321 (-13.5) [10.4]	2,156 (-7.1) [7.3]
外需	24,273 (-3.5) [-6.8]	25,912 (6.7) [1.9]	27,613 (6.6) [-1.3]	22,904 (-17.1) [-9.4]	21,618 (-5.6) [-3.5]	7,901 (0.3) [-7.0]	7,126 (-9.8) [-11.3]	7,340 (3.0) [-1.9]	6,263 (-14.7) [-31.1]
代理店	2,394 (-6.7) [-2.0]	2,673 (11.6) [15.7]	2,946 (10.2) [20.4]	2,768 (-6.1) [7.8]	2,871 (3.7) [21.3]	965 (8.7) [17.8]	914 (-5.3) [16.5]	1,043 (14.1) [35.7]	814 (-22.0) [6.5]

資料：内閣府経済社会総合研究所

- 備考
1. 季節調整系列は個別に季節調整を行っているため、需要者別内訳の合計は全体の季節調整値とは一致しない。
 2. 四半期は合計額、()内は対前期(月)増減率、[]内は原系列による対前年同期(月)増減率。

【住宅投資】

県内8月の新設住宅着工戸数は、総数で2,699戸(前年同月比19.0%減)となり、持家、貸家、分譲住宅が減少し、全体では4か月ぶりに前年を下回った。また、前月比では453戸の減少となった。

8月の新設住宅着工戸数

(速報、単位：戸、%)

	兵庫県	前年同月比	全国	前年同月比
持家系・持家	911	24.0	28,208	9.1
・分譲住宅	948	11.7	21,228	2.5
貸家系・貸家	813	22.9	27,616	2.7
・給与住宅	27	350.0	448	44.8
総数	2,699	19.0	77,500	5.5

資料：兵庫県住宅計画課、国土交通省

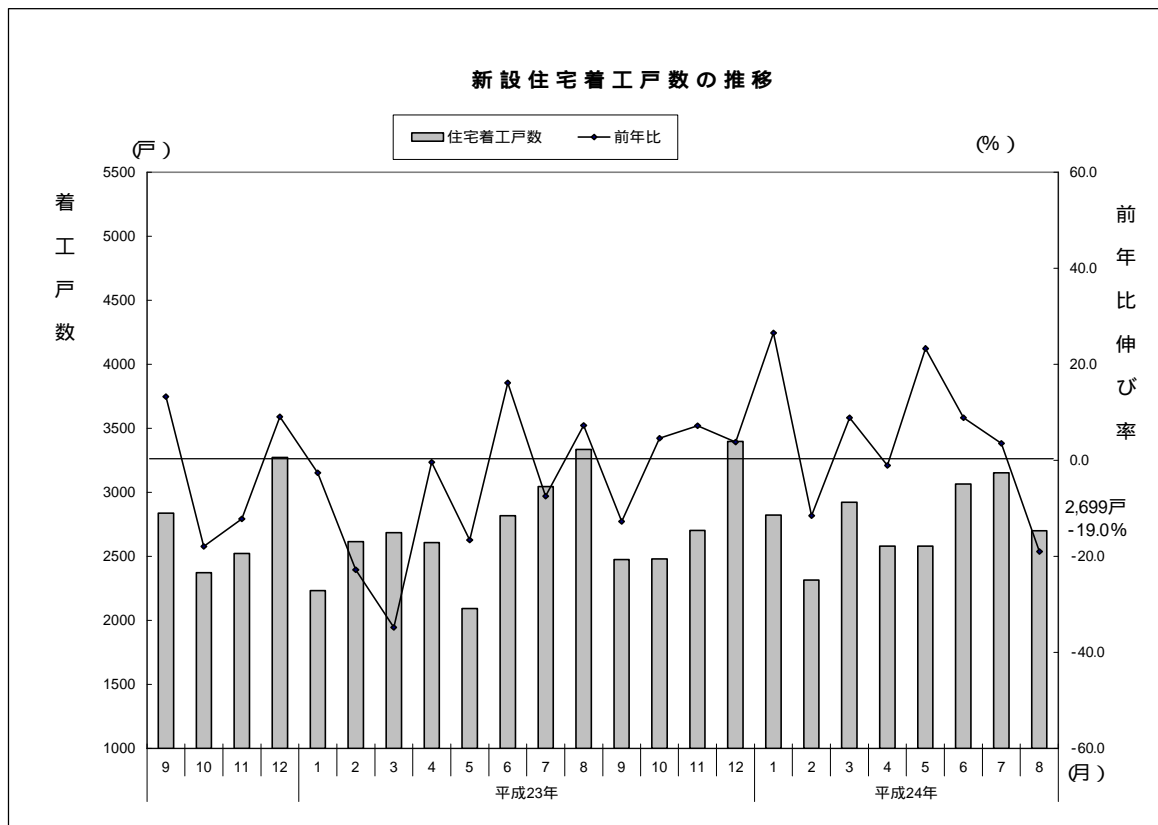
8月の地域別着工戸数

(戸)

地域	神戸	阪神南	阪神北	東播磨	北播磨	中播磨	西播磨	但馬	丹波	淡路	計
戸数	908	601	229	342	92	341	63	70	24	29	2,699
前月比	52	-55	-163	-122	-8	-123	-57	22	3	-2	-453

資料：兵庫県住宅計画課

平成24年8月の新設住宅着工累計は、総数で14,077戸、前年同期比180戸の増加となった。利用関係別では「持家」が4,546戸(前年同期比6.6%減)、「分譲住宅」が5,034戸(同4.6%増)、「貸家」が4,181戸(同0.4%増)、「給与住宅」が316戸(同485.2%増)となった。



【公共工事】

9月の県内公共工事動向を西日本建設業保証(株)兵庫支店の前払金保証取扱状況で見ると、件数は484件で前年同月比7.3%の減少、請負金額は250億66百万円で同6.0%の減少となり、金額ベースでは2か月連続で前年同月を下回った。

発注者別(金額ベース)にみると、「独立行政法人等」が前年同月比322.6%、「神戸市を除く市町」同25.5%、「国」同21.9%の増加となったものの、「神戸市」同70.1%、「その他の団体」同62.2%、「兵庫県」同4.7%の減少となり、前年同月を下回った。

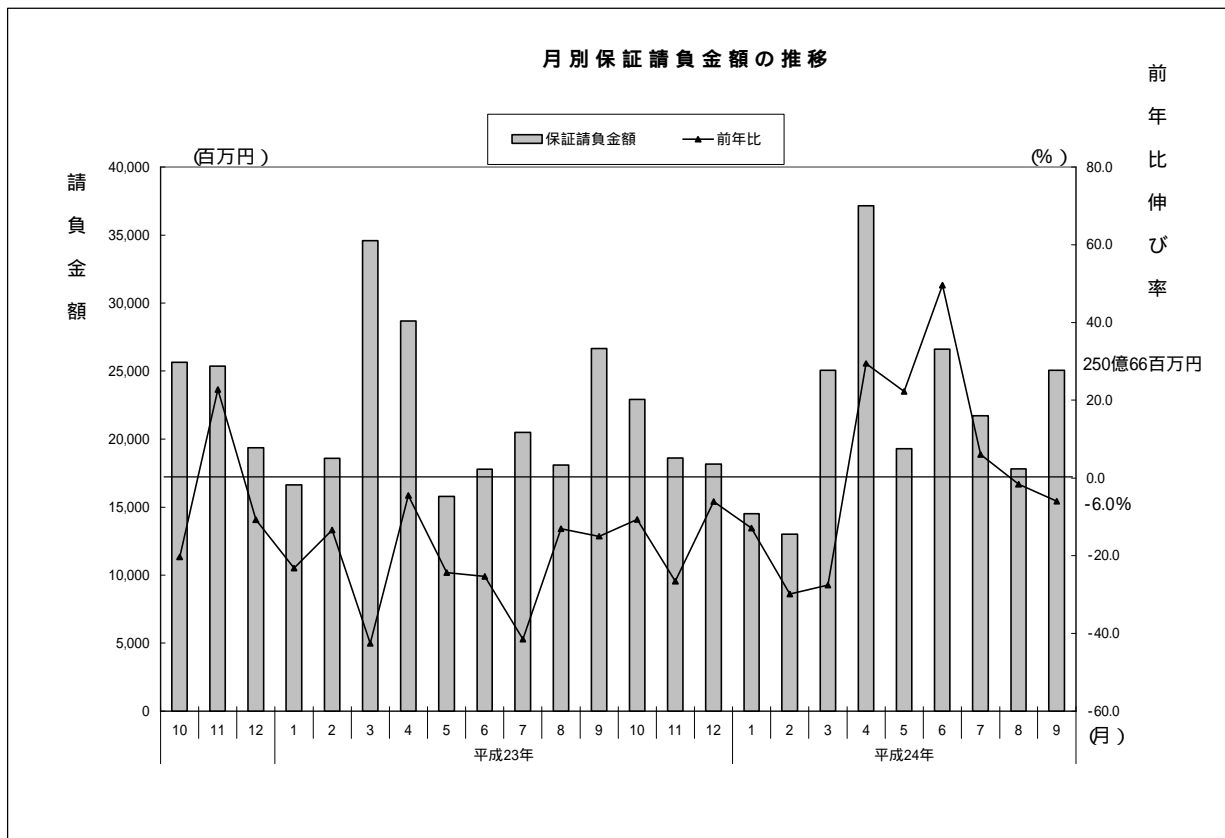
地域別(金額ベース)では、阪神北(前年同月比257.5%増) 東播磨(同36.4%増) 但馬(同23.6%増) 西播磨(同17.9%増) 北播磨(同14.4%増) 丹波(同10.3%増) 阪神南(同5.1%増)で増加、神戸市(同65.4%減) 中播磨(同29.1%減) 淡路(同28.3%減)で減少となった。

9月の公共工事発注状況

金額単位未満切捨て、()内は前年同月比伸び率増減：%

発注者	件数	金額(百万円)	大型工事明細(5億円以上)
国	41(13.9)	3,860(21.9)	
独立行政法人等	11(8.3)	2,746(322.6)	新名神高速道路有野川橋工事、同川下川橋工事、同猪名川西工事、同猪瀬工事
兵庫県	199(13.9)	8,632(4.7)	加古川小野線東播磨南北道路水足新辻高架橋上部工事、県立尼崎・塚口統合新病院第1期建築工事
神戸市	41(22.6)	1,931(70.1)	
神戸市を除く市町	168(1.8)	7,336(25.5)	姫路市大塩処理場水処理第3系列他建設工事、西脇市立学校給食センター改築工事
その他の団体	24(4.0)	558(62.2)	神戸市立西第29小学校校舎新築工事
合計	484(7.3)	25,066(6.0)	

資料：西日本建設業保証(株)



【貿易】

平成24年8月の神戸港貿易概況(速報)によると、輸出入総額は6,287億円、前年同月比5.6%の減少で、総額ベースで9か月連続の減少となった。輸出は、金属加工機械などが増加したものの、ポンプ及び遠心分離機、船舶などが減少した。一方、輸入は、たばこなどが増加したものの、衣類及び同付属品、無機化合物などが減少した。

輸出は4,031億円(前年同月比5.0%減)と9か月連続で前年を下回った。

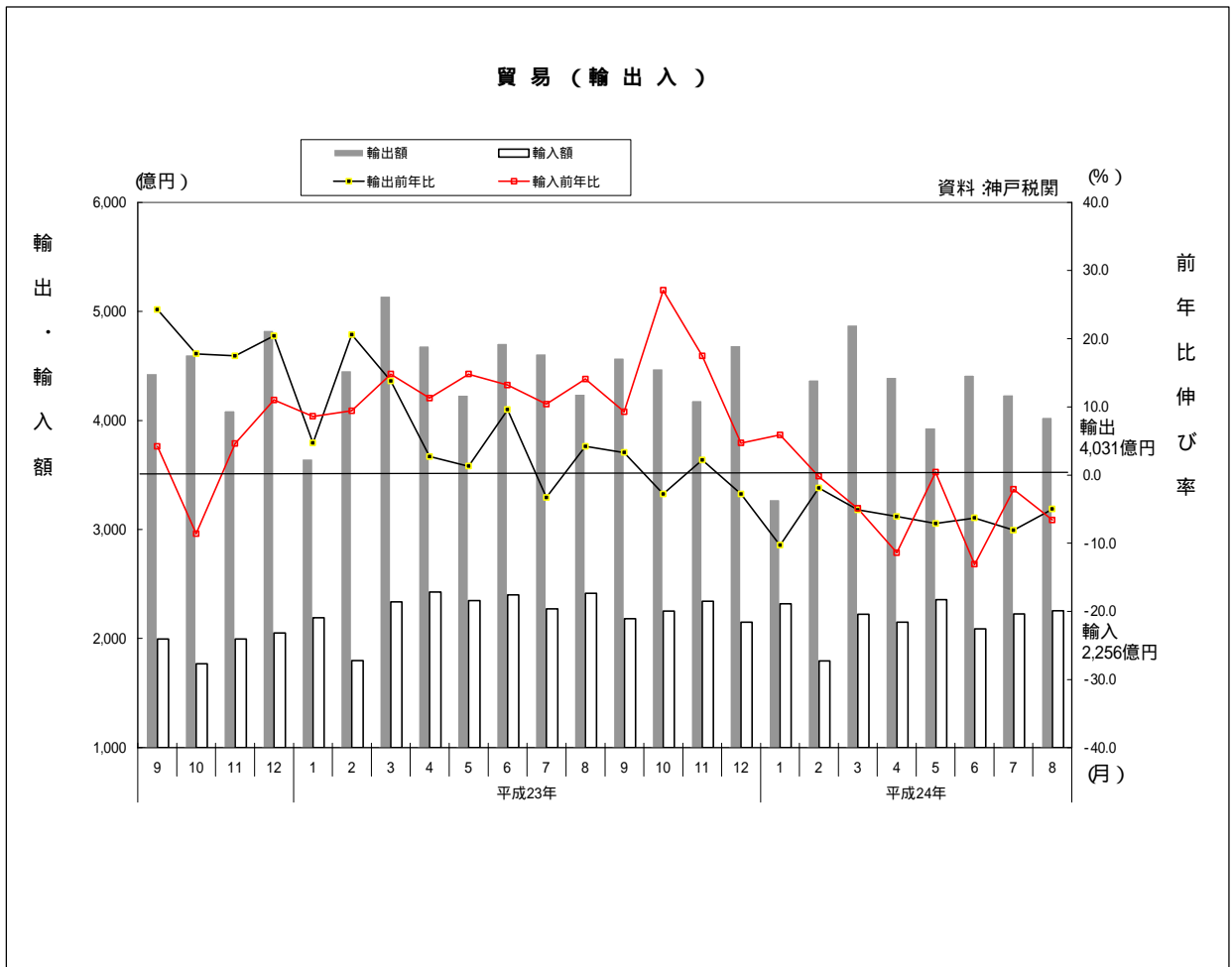
主要品目では、原動機(前年同月比19.0%増、3か月連続プラス)、プラスチック(同2.4%増、14か月ぶりにプラス)が増加し、織物用糸及び繊維製品(同1.9%減、3か月連続マイナス)、建設用・鉱山用機械(同2.6%減、4か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、米国(前年同月比28.6%増、2か月連続プラス)が増加し、アジア(中国含む)(同4.8%減、11か月連続マイナス)、中国(同15.2%減、11か月連続マイナス)、EU(同27.7%減、4か月連続マイナス)がいずれも減少した。

輸入は2,256億円(前年同月比6.6%減)と3か月連続で前年を下回った。

主要品目では、たばこ(前年同月比34.7%増、6か月ぶりにプラス)が増加し、衣類及び同付属品(同14.2%減、14か月ぶりにマイナス)、非鉄金属(同11.2%減、2か月ぶりにマイナス)、有機化合物(同14.2%減、5か月連続マイナス)が減少した。

主要地域(国)別では、EU(前年同月比8.2%増、2か月連続プラス)が増加し、米国(同13.7%減、2か月ぶりにマイナス)、アジア(中国含む)(同8.8%減、3か月連続マイナス)、中国(同16.5%減、3か月連続マイナス)が減少した。



【物 価】『消費者物価』

9月の神戸市消費者物価指数は、総合指数が99.6(平成22年=100)となり、前月比は0.3%下落、前年同月比は0.6%下落となった。生鮮食品を除く総合指数は99.9となり、前月比、前年同月比ともに0.2%下落となった。また、食料(酒類を除く)及びエネルギーを除く総合指数は99.4となり、前月比、前年同月比ともに0.4%下落となった。

前月からの動きを見ると、シャツ・セーター・下着類の上昇により「被服及び履物」が4.0%、飲料などの上昇により「食料」が0.1%、家事雑貨などの上昇により「家具・家事用品」が0.7%、それぞれ上昇した。しかしながら、教養娯楽サービスなどの下落により「教養娯楽」が2.7%、交通などの下落により「交通・通信」が0.9%、理美容用品の下落により「諸雑費」が0.1%、それぞれ下落した結果、総合では0.3%の下落となった。

9月の神戸市消費者物価指数(速報)

	総合	食料	住居	光熱水道	家具 家事用品	被服及 履物	保健 医療	交通 通信	教育	教養 娯楽	諸雑費	生鮮食品を 除く総合	食料・エネ ルギーを 除く総合
指 数	99.6	98.0	101.9	106.7	96.2	101.8	98.2	98.6	100.2	95.4	102.6	99.9	99.4
前月比	-0.3	0.1	0.0	0.0	0.7	4.0	0.0	-0.9	0.0	-2.7	-0.1	-0.2	-0.4
前年同月比	-0.6	-1.8	0.4	3.2	-0.2	-0.4	-0.7	-0.1	0.1	-2.5	-0.4	-0.2	-0.4

(注)平成22年=100

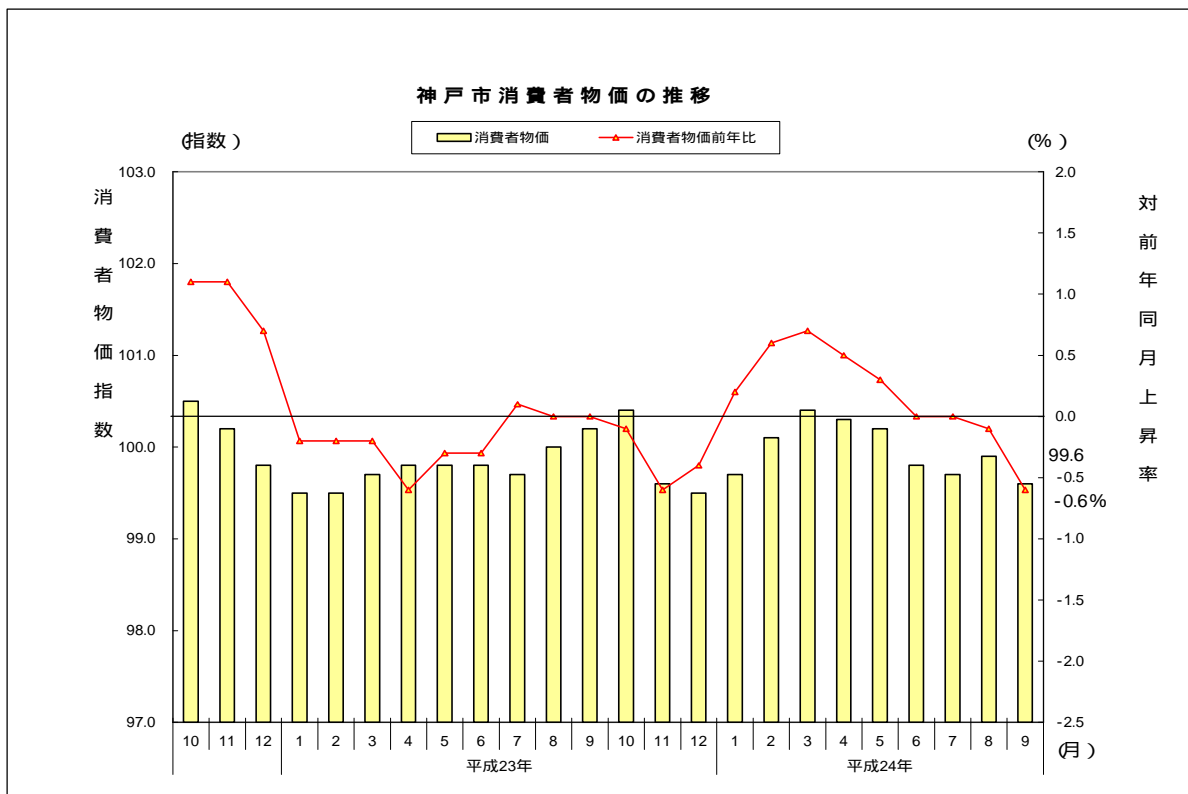
資料：兵庫県統計課

対前月比値上がりした主な品目

シャツ・セーター・下着類 (+ 11.2%)・・・子供シャツ、男子シャツ
飲料 (+ 4.3%)・・・コーヒー豆、ミネラルウォーター

対前月比値下がりした主な品目

教養娯楽サービス (3.6%)・・・宿泊料、外国パック旅行
交通 (4.9%)・・・航空運賃、JR料金(新幹線、在来線)



【物 価】『企業物価』

日本銀行調査統計局が10月12日に発表した、企業物価指数(速報)による2012年9月の企業物価指数は次のとおり。

9月の企業物価指数

(速報、2010年=100)

	指 数	前月比(%)	前年同月比(%)
国内企業物価	100.5	0.3	1.4
輸 出 物 価	94.2	0.0	2.0
輸 入 物 価	105.6	1.5	0.6

資料：日本銀行調査統計局

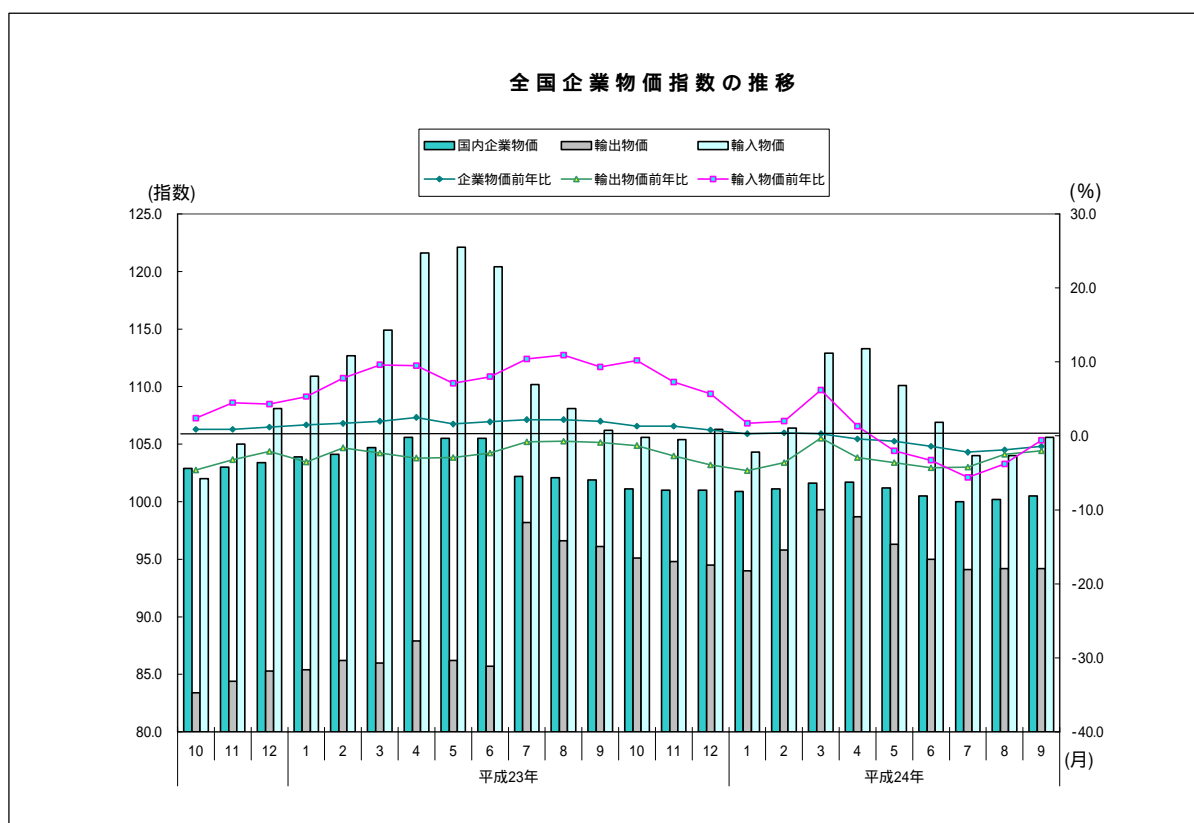
国内企業物価は、石油・石炭製品(前月比+4.1%<ガソリンなど>)、非鉄金属(同+2.6%<銅地金など>)、食流品・飲料・たばこ・飼料(同+0.1%<米菓など>)等が上昇、スクラップ類(同-3.9%<鉄くずなど>)等が下落し、全体では前月比0.3%の上昇となった。

前年同月比では1.4%下落し、6か月連続でマイナスとなった。

世界的な景気減速で鉄鋼など素材関連が値下がりした。

輸出物価は、化学製品(前月比+0.9%<パラキシレンなど>)、その他産品・製品(同+0.7%<ジェット燃料油・灯油など>)等が上昇、はん用・生産用・業務用機器(同-0.3%<旋盤など>)等が下落し、円ベースでは前月比変わらず(前年同月比-2.0%)となった。

輸入物価は、石油・石炭・天然ガス(前月比+3.5%<原油など>)、金属・同製品(同+1.3%<銅鉱など>)、食料品・飼料(同+1.0%<とうもろこしなど>)、繊維品(同+0.5%<セーターなど>)等が上昇し、円ベースでは前月比1.5%の上昇(前年同月比-0.6%)となった。



【雇 用】

(1) 求人状況

県内8月の新規求人数(全数)は、25,327人(前年同月比6.0%増、前月比2.1%増)で、13か月連続で前年を上回った。また、月間有効求人数(全数)は67,362人(前年同月比10.3%増、前月比0.9%増)で28か月連続して前年を上回った。

雇用形態別(新規求人)にみると、一般常用では前年同月比4.2%増で30か月連続して前年を上回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)については同7.2%増で9か月連続で前年を上回った。また臨時・季節では同18.5%増で2か月ぶりに前年を上回った。

さらに、新規求人を主要産業別にみると、建設業(前年同月比18.7%増)、情報通信業(同4.9%増)、運輸業、郵便業(同5.7%増)、卸売業、小売業(同2.3%増)、宿泊業、飲食サービス業(同20.7%増)、生活関連サービス業、娯楽業(同2.0%増)、医療、福祉(同17.5%増)、サービス業(同10.8%増)は前年を上回ったが、製造業(同11.6%減)、学術研究、専門・技術サービス業(同13.6%減)は前年を下回った。

(2) 求職状況

8月の新規求職申込件数(全数)は、21,218件(前年同月比11.9%減、前月比1.3%減)で、12か月連続で前年を下回った。また、月間有効求職者数(全数)は100,594人(前年同月比3.9%減、前月比3.1%減)で27か月連続して前年を下回った。

雇用形態別(新規求職)にみると、一般常用では前年同月比11.6%減で12か月連続して前年を下回り、パートタイム(常用的パート+臨時的パート)では同13.0%減で3か月連続して前年を下回った。また、臨時・季節については、前年同月比9.9%増で2か月連続で前年を上回った。

さらに、新規常用求職者(パートを除く)を就業・不就業の態様別にみると、在職者は前年同月比2.4%減で2か月ぶり、事業主都合離職者は同15.6%減で2か月ぶり、自己都合離職者は同5.4%減で2か月ぶり、自営・他は同23.5%減で15か月連続、無業者は同36.1%減で8か月連続して前年を下回った。

なお、雇用保険失業給付の受給者実人員は、30,076人(前年同月比0.7%増)で、2か月連続で前年を上回った。

(3) 求人倍率状況

8月の求人倍率(季節調整値)は、新規求人倍率が1.13倍で前月を上回り、有効求人倍率については0.69倍で前月を下回った。

(4) 失業者の状況

8月の全国の完全失業率(季節調整値)は4.2%、完全失業者数(原数値)は277万人(前年同月比18万人減)となった。また、近畿の完全失業率(原数値)は4.9%(前年同月比0.5ポイント増)で、完全失業者数(原数値)は50万人(前年同月比6万人増)となった。

産業別新規求人数の状況

(新規学卒者を除きパートタイムを含む)

	全 産 業	建 設 業	製 造 業	情 報 通 信 業	運 輸 ・ 郵 便 業	卸 売 ・ 小 売 業	金 融 ・ 保 険 業	不 動 産 ・ 物 品 賃 貸 業	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス ・ 娯 楽 業	医 療 ・ 福 祉	サ ー ビ ス 業
24年8月	25,327	1,895	2,854	320	1,341	4,214	176	424	652	1,897	966	6,654	3,286
前年同月比	6.0	18.7	11.6	4.9	5.7	2.3	18.9	15.8	13.6	20.7	2.0	17.5	10.8

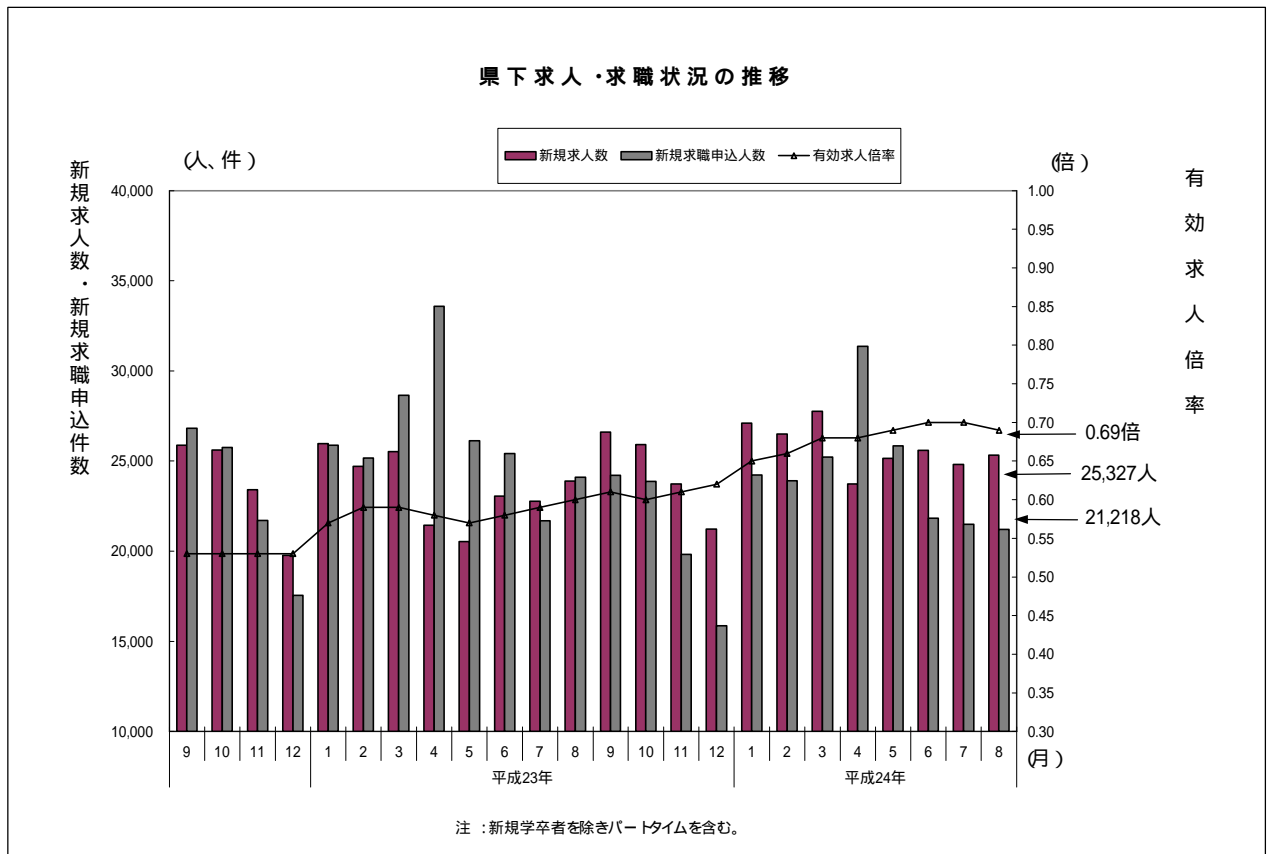
(単位：人、前年同月比増減率：%)

資料：兵庫労働局

雇用・賃金の推移

項目・年月	11/7-9	11/10-12	12/1-3	12/4-6	12/6	12/7	12/8
有効求人倍率 (季調済、倍)	0.60	0.62	0.66	0.69	0.70	0.70	0.69
新規求人数 (原数値、前年比%)	3.9	3.0	6.8	14.5	11.0	9.0	6.0
所定外労働時間 (規模5人以上、前年比%)	1.0	4.8	2.2	5.0	6.5	4.2	0.6
常用労働者数 (規模5人以上、前年比%)	0.2	0.6	0.0	0.6	0.7	0.8	0.5
一人当り名目賃金 (規模5人以上、前年比%)	0.9	0.5	1.3	2.9	7.0	4.0	3.6

資料：兵庫労働局、兵庫県県民政策部



【信用保証】

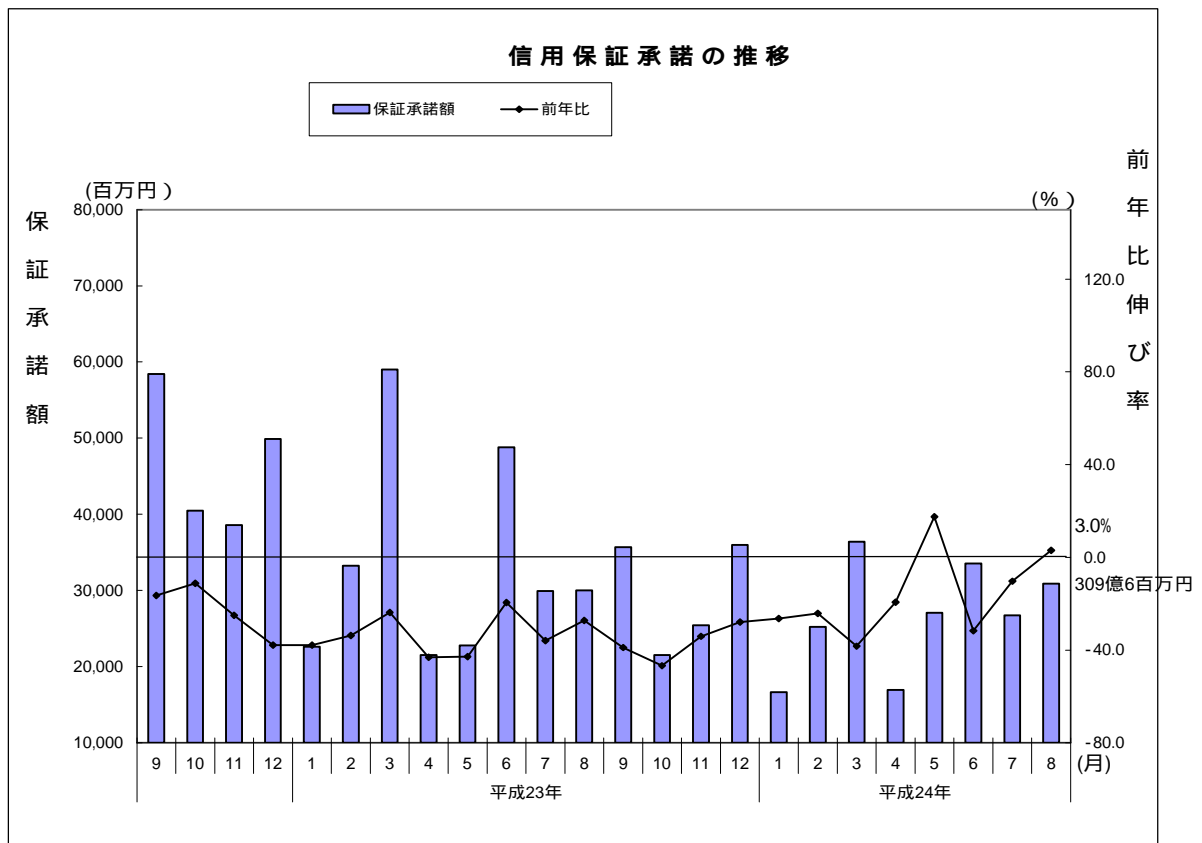
兵庫県信用保証協会による8月の保証承諾実績は、件数で1,863件(前年同月比6.1%減)、金額は309億6百万円(同3.0%増)となり、件数は3か月連続で前年を下回ったものの、金額は3か月ぶりに前年実績を上回った。

資金使途別では、運転資金28,932百万円(前年同月比4.9%増)、設備資金670百万円(同21.0%増)となり、運転資金、設備資金とも前年同月を上回った。

業種別(金額ベース)では、「運送・倉庫業」1,802百万円(前年同月比62.0%増)、「サービス業」3,766百万円(同14.9%増)、「製造業」5,682百万円(同14.3%増)で前年同月を上回り、「小売業」3,784百万円(同0.4%減)、「飲食店」634百万円(同4.4%減)、「建設業」7,732百万円(同6.0%減)、「卸売業」6,162百万円(同6.0%減)、「不動産業」1,167百万円(同13.2%減)で前年同月を下回った。

一方、同月の代位弁済は、274件(前年同月比17.5%減)、32億98百万円(同13.2%減)となった。

8月末の保証債務残高は、111,399件(前年同月比4.3%減)、1兆2,984億円(同8.5%減)となった。



【金 融】

8月末の県内金融機関の預貸金残高(日本銀行神戸支店調べ)は以下の通り。

(単位：億円、%)

	預 金	前年同月比	貸 出	前年同月比
都市銀行等	141,581	1.9	55,647	0.4
地方銀行	23,974	1.5	20,091	4.8
第二地方銀行	31,446	2.5	19,648	0.8
信用金庫	79,459	1.0	37,781	1.3
その他	17,127	2.6	17,022	1.1
計	293,587	1.7	150,189	0.3

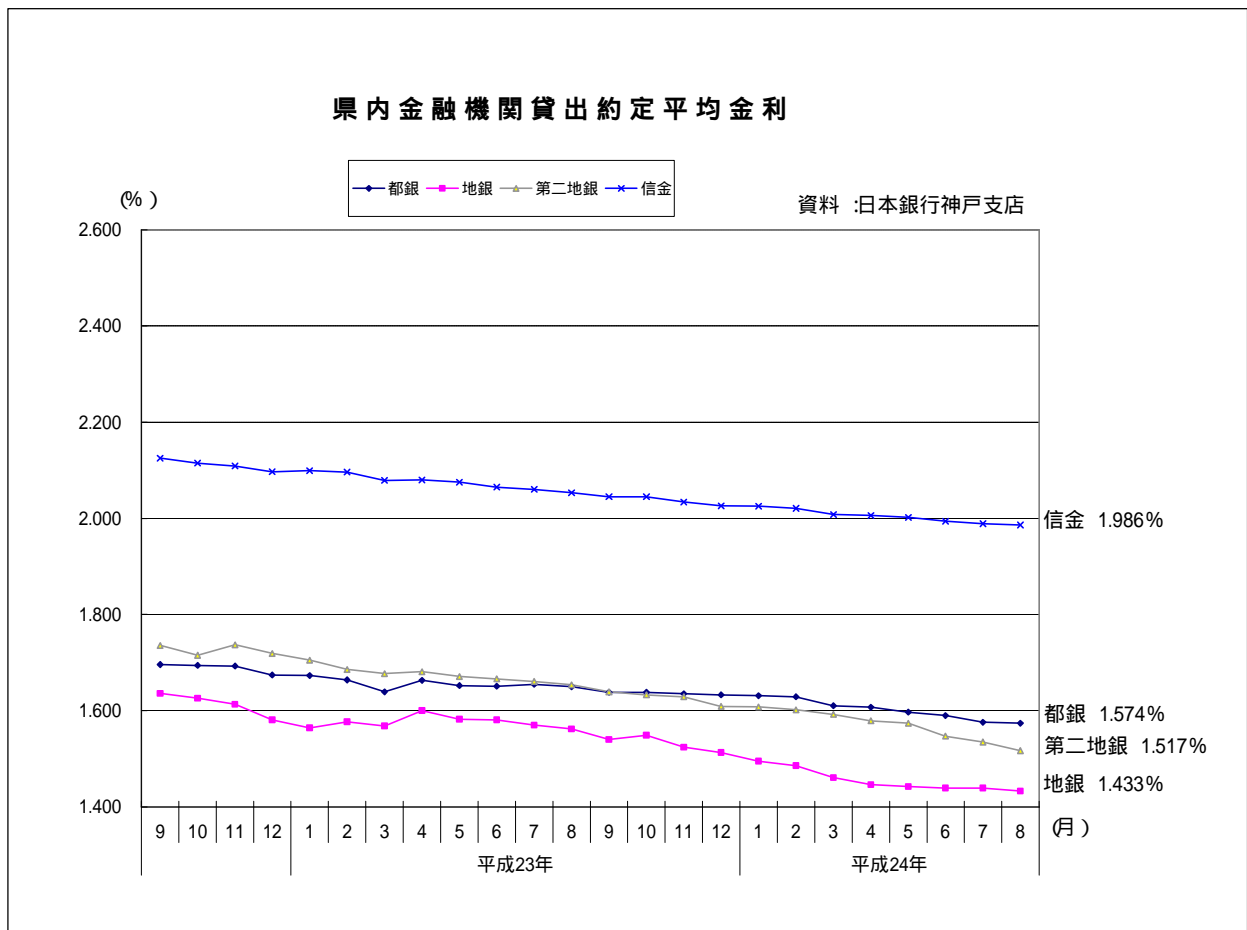
・都銀等 = 都市銀行、信託銀行、新生銀行、シティバンク銀行の計。

・その他 = 信用組合、労働金庫、商工中金、国民公庫、中小公庫の計。ただし、預金は国民公庫、中小公庫を除く。

8月の預金は、前年を上回って推移している。

8月の貸出は、前年並みの水準で推移している。

8月の貸出約定平均金利(ストックベース)は、緩やかに低下している(8月末水準 1.688%、前月比 0.006%ポイント)。



【倒 産】

県内9月の企業倒産(負債総額1千万円以上、東京商工リサーチ神戸支店)は43件で前年同月比23.2%の減少、負債総額は63億21百万円で同15.2%の増加となった。

倒産件数は、前月比18件の減少となり本年最少、9月単月では過去10年間(平成15年以降)で最も少ない件数となった。負債総額は、10億円以上の大型倒産が2件発生したが、当月も1億円未満の小口倒産が34件を占めるなど、小口主流であった。

なお、返済猶予に関連する倒産が1件発生した。

原因別(件数)では、販売不振が30件(全体の69.8%)と当月もトップ。2番目は放漫経営と不良債権発生がともに4件であった。販売不振、赤字累積、売掛金回収難等の「不況型倒産」は33件と前月比18件の減少ながら、構成比は76.7%と依然高い割合を占めている。

業種別(件数)では、不動産・サービス他業が14件(全体の32.6%)と最も多く、2番目は建設業が10件、次いで運輸・通信他業が5件と続いている。

「資本金別」では、「個人企業」15件でトップ、次いで「1千万円以上」が12件、「1百万円以上」が9件となった。

「産業別」では、「建設業」が10件でトップ、次いで「サービス・他業」が9件、「小売業」が6件となった。

日本銀行神戸支店が10月1日にまとめた「県内金融経済概況」によると、「景気は持ち直しの動きもみられるが、なお足踏み状態にある」と基調判断を据え置いた。県下の企業倒産は、ここ数か月は件数の増減が大きく、当月は大きく減少に転じた。再延長となった「中小企業金融円滑化法」や各種の金融政策の効果が寄与し、基調として抑制傾向の推移が続いているといえる。ただ、足元の景気を支えてきたエコカー補助金制度の廃止や、外需を押し上げてきた中国経済や日中関係の動向が当面は気にかかるところで、企業倒産は、今しばらくは一進一退の推移が続くものと思われる。

9月の原因別・業種別の倒産件数

(負債総額1,000万円以上)

原因別						業種別					
	当月	前月	前月比	前年	前年比		当月	前月	前月比	前年	前年比
放漫経営	4	5	-1	4	0	金属・機械・電気	3	6	-3	9	-6
過小資本	0	1	-1	7	-7	化学・薬品	0	1	-1	0	0
連鎖倒産	4	2	2	4	0	ゴム・皮革・ケミカル	1	0	1	0	1
赤字累積	2	15	-13	1	1	食品	2	5	-3	10	-8
販売不振	30	36	-6	39	-9	建設	10	17	-7	14	-4
売掛金回収難	1	0	1	0	1	不動産・サービス	14	17	-3	16	-2
その他	2	2	0	1	1	運輸・通信他	13	15	-2	7	6
合計	43	61	-18	56	-13	合計	43	61	-18	56	-13

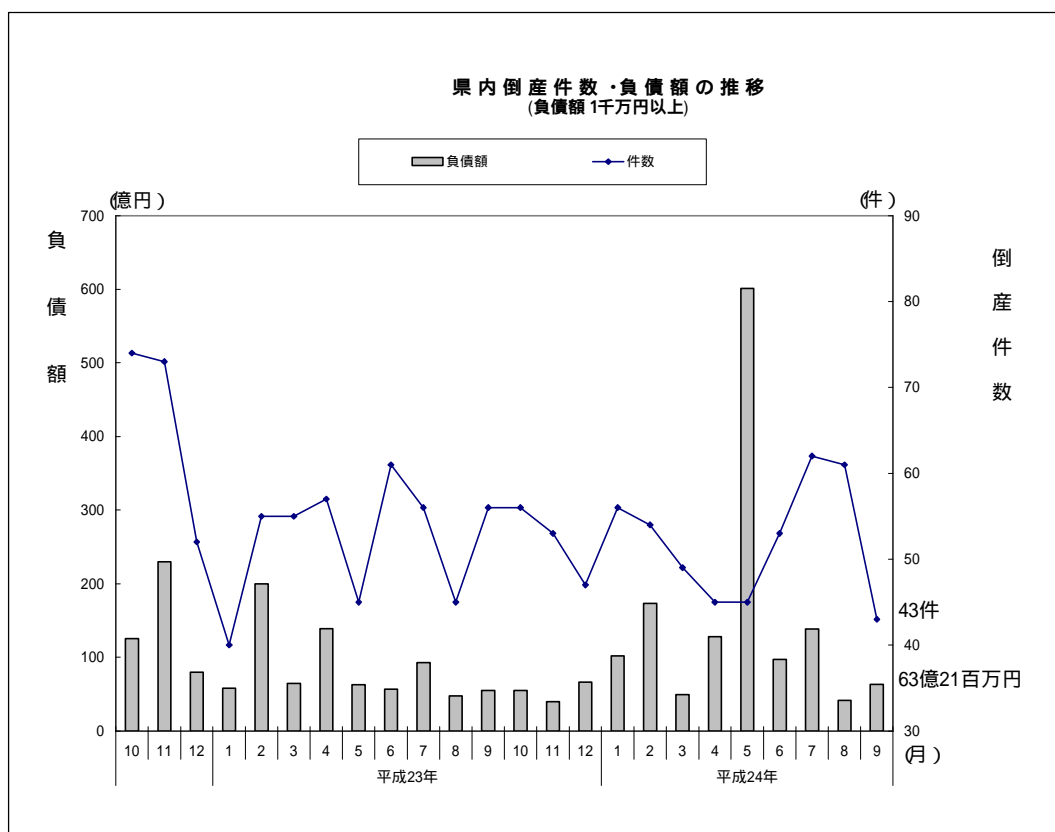
資料：東京商工リサーチ神戸支店

県下企業倒産件数地区別内訳 (負債総額1,000万円以上)

(単位: 件数)

年 月	総数	神戸	阪神	西播	東播	但馬	丹波	淡路
19年 平均	59.3	21.3	13.6	8.3	11.3	1.8	1.3	1.7
20年 平均	62.3	20.6	19.0	7.9	10.6	1.8	1.3	1.1
21年 平均	62.6	21.6	18.5	9.8	9.1	0.9	1.1	1.6
22年 平均	60.8	20.8	20.6	9.0	6.9	1.4	0.7	1.4
23年 平均	52.2	15.2	17.2	7.9	8.7	1.3	1.0	0.9
24年 1月	56	14	19	6	9	3	0	5
24年 2月	54	17	23	5	2	4	1	2
24年 3月	49	15	23	0	9	1	1	0
24年 4月	45	14	14	7	6	1	2	1
24年 5月	45	16	18	5	5	0	0	1
24年 6月	53	18	25	4	3	1	1	1
24年 7月	62	16	28	4	11	0	1	2
24年 8月	61	22	22	6	5	1	1	4
24年 9月	43	15	14	4	9	0	0	1

資料: 東京商工リサーチ神戸支店



県内主要経済指標

項目 年月	鉱工業生産指数(季節調整済)				公共工事請負金額			新設住宅着工戸数			
	兵庫県 (17年=100)		全国 (12年=100)		兵庫県		全国	兵庫県		全国	
	指数	前月比	指数	前月比	金額 (億円)	前年比	前年比	戸数 (戸)	前年比	前年比	
23年	1月	97.4	0.2	96.0	1.3	166	-23.2	-9.9	2,232	-2.6	2.7
	2月	101.3	4.1	97.9	1.8	186	-13.4	4.2	2,615	-22.8	10.1
	3月	95.8	-5.5	82.7	-15.5	346	-42.6	-3.5	2,685	-34.8	-2.4
	4月	98.8	2.1	84.0	1.6	287	-4.5	-11.2	2,607	-0.4	0.3
	5月	102.9	3.9	89.2	6.2	158	-24.3	-14.1	2,093	-16.6	6.4
	6月	101.8	-0.8	92.6	3.8	178	-25.4	-3.4	2,817	16.1	5.8
	7月	100.3	-2.4	93.0	0.4	205	-41.5	-15.9	3,046	-7.5	21.2
	8月	99.3	-1.8	93.6	0.6	181	-13.1	3.5	3,334	7.3	14.0
	9月	96.8	-3.7	90.5	-3.3	267	-15.0	3.3	2,475	-12.7	-10.8
	10月	98.7	1.5	92.5	2.2	229	-10.7	3.2	2,480	4.6	-5.8
	11月	97.5	-0.9	90.1	-2.6	186	-26.6	6.8	2,703	7.2	-0.3
	12月	98.7	0.2	93.4	3.8	182	-6.1	0.6	3,398	3.8	-7.3
24年	1月	102.9	3.0	95.2	1.9	145	-12.9	8.5	2,823	26.5	-1.1
	2月	99.0	-1.2	94.4	-1.6	130	-29.9	16.8	2,314	-11.5	7.5
	3月	97.9	-2.9	95.3	1.0	251	-27.6	8.0	2,923	8.9	5.0
	4月	96.3	1.5	95.4	-0.2	372	29.5	5.4	2,579	-1.1	10.3
	5月	95.0	-0.2	92.2	-3.4	193	22.3	36.7	2,581	23.3	9.3
	6月	94.0	-1.3	92.6	0.4	266	49.6	14.1	3,066	8.8	-0.2
	7月	r 95.7	1.5	91.7	-1.0	217	6.0	26.6	3,152	3.5	-9.6
	8月	p 91.5	-4.4	90.2	-1.6	178	-1.6	19.2	2,699	-19.0	-5.5
	9月					251	-6.0	-1.9			
	10月										
	11月										
	12月										
資料	兵庫県統計課		経済産業省		西日本建設業保証(株) 兵庫支店			兵庫県住宅地課		国土交通省	

* p は速報値 r は確報値

項目 年月	乗用車新車登録台数 (含む軽自動車)			百貨店売上高			輸出入状況(神戸港)				
	兵庫県		全国	兵庫県		全国 (既存店)	輸出		輸入		
	台数	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	前年比	金額 (億円)	前年比	金額 (億円)	前年比	
23年	1月	10,161	-22.4	-19.0	199	-1.2	-1.1	3,650	4.7	2,191	8.6
	2月	13,994	-15.2	-13.8	153	-0.5	0.6	4,460	20.7	1,799	9.4
	3月	14,841	-35.5	-37.4	175	-5.4	-15.0	5,143	13.8	2,337	14.8
	4月	5,776	-50.6	-48.5	175	0.7	-1.8	4,686	2.7	2,425	11.3
	5月	7,635	-33.0	-33.3	167	-4.2	-2.6	4,234	1.3	2,348	14.8
	6月	11,464	-22.3	-21.9	170	-2.6	0.1	4,712	9.7	2,402	13.2
	7月	11,459	-29.0	-25.6	215	-1.7	-0.4	4,615	-3.3	2,275	10.4
	8月	10,264	-29.0	-26.0	156	-3.2	-2.1	4,244	4.2	2,417	14.2
	9月	15,901	-2.7	-2.1	150	-5.7	-2.8	4,576	3.3	2,183	9.3
	10月	12,206	26.2	27.5	175	-0.7	-0.8	4,476	-2.8	2,252	27.1
	11月	13,092	30.5	25.1	185	-4.5	-2.2	4,184	2.2	2,345	17.5
	12月	11,605	23.1	20.9	268	0.5	0.7	4,690	-2.8	2,150	4.7
24年	1月	14,266	40.4	38.4	196	-1.7	-1.2	3,277	-10.3	2,319	5.9
	2月	18,388	31.4	31.7	156	2.3	-0.5	4,375	-1.9	1,796	-0.2
	3月	24,941	68.1	76.3	179	2.3	14.2	4,879	-5.1	2,225	-4.9
	4月	11,728	103.0	99.5	165	-1.7	1.6	4,398	-6.1	2,151	-11.4
	5月	12,881	68.6	68.6	165	2.7	-0.9	3,935	-7.1	2,359	0.4
	6月	16,893	47.4	46.8	164	-0.2	-1.2	4,418	-6.3	2,088	-13.1
	7月	16,384	43.0	42.3	203	-1.4	-3.3	r 4,239	-8.1	r 2,227	-2.1
	8月	11,762	14.6	15.6	151	0.6	-0.8	p 4,031	-5.0	p 2,256	-6.6
	9月	15,226	-4.2	-3.7	147	2.1					
	10月										
	11月										
	12月										
資料	自販連兵庫県支部 兵庫県軽自動車協会			兵庫県百貨店協会		近畿経済 産業局		神戸税関			

* p は速報値 r は確報値

* 百貨店売上高の前年比は店舗調整後

項目 年月	有効求人倍率 (パートを含む)		県下常用労働者数 (30人以上,月末推計)		県下名目賃金指数 (定期給与,30人以上)		消費者物価指数 (22年=100)			
	兵庫県	全国	全産業 (千人)	前年比 %	指数 (22年=100)	前年比 %	神戸市		全国	
							指数	前年比 %	指数	前年比 %
23年 1月	(季調済) 0.57	(季調済) 0.61	1,001	0.2	98.9	0.1	99.5	-0.2	99.5	-0.6
2月	0.59	0.62	998	0.1	99.2	0.0	99.5	-0.2	99.5	-0.5
3月	0.59	0.63	996	0.3	101.1	1.2	99.7	-0.2	99.8	-0.5
4月	0.58	0.61	1,009	0.9	100.8	0.2	99.8	-0.6	99.9	-0.4
5月	0.57	0.61	1,012	0.9	99.7	0.0	99.8	-0.3	99.9	-0.4
6月	0.58	0.63	1,013	1.1	100.1	-0.5	99.8	-0.3	99.7	-0.4
7月	0.59	0.64	1,015	1.1	100.1	-0.4	99.7	0.1	99.7	0.2
8月	0.60	0.66	1,012	1.0	99.5	-0.8	100.0	0.0	99.9	0.2
9月	0.61	0.67	1,008	0.5	99.8	-1.1	100.2	0.0	99.9	0.0
10月	0.60	0.67	1,005	0.0	99.9	-0.9	100.4	-0.1	100.0	-0.2
11月	0.61	0.69	1,008	0.1	101.4	0.3	99.6	-0.6	99.4	-0.5
12月	0.62	0.71	1,007	0.3	99.9	-0.8	99.5	-0.4	99.4	-0.2
24年 1月	0.65	0.73	1,053	5.2	98.7	-0.2	99.7	0.2	99.6	0.1
2月	0.66	0.75	1,049	5.1	98.9	-0.3	100.1	0.6	99.8	0.3
3月	0.68	0.76	1,043	4.7	100.1	-1.0	100.4	0.7	100.3	0.5
4月	0.68	0.79	1,053	4.4	100.5	-0.3	100.3	0.5	100.4	0.4
5月	0.69	0.81	1,052	4.0	98.8	-0.9	100.2	0.3	100.1	0.2
6月	0.70	0.82	1,051	3.8	100.2	0.1	99.8	0.0	99.6	-0.2
7月	0.70	0.83	1,054	3.8	100.0	-0.1	99.6	0.0	99.3	-0.4
8月	0.69	0.83	1,051	3.9	99.6	0.1	r 99.9	-0.1	99.4	-0.4
9月							p 99.6	-0.6		
10月										
11月										
12月										
資料	兵庫県労働局		兵庫県統計課			兵庫県統計課		総務省		

項目 年月	国内企業物価指数 (H24.5より22年=100)		県下金融機関 貸出金残高		貸出約定 平均金利	県下企業倒産 (負債1,000万円以上)				
	全国		金額 (各期末)	前年比 %	全国銀行 (年%)	件数	金額 (億円)	地域別倒産件数		
	指数	前年比 %						神戸	阪神	播磨他
23年 1月	103.9	1.5	151,540	-0.9	1.547	40	58	6	15	19
2月	104.1	1.7	151,452	-0.9	1.539	55	200	16	14	25
3月	104.7	2.0	154,140	0.2	1.519	55	65	16	20	19
4月	105.6	2.5	151,177	-0.4	1.521	57	139	21	17	19
5月	105.5	1.6	150,788	-0.9	1.512	45	63	14	17	14
6月	105.5	1.9	150,230	-0.5	1.508	61	57	13	23	25
7月	102.2	2.2	150,694	-0.7	1.501	56	93	18	16	22
8月	102.1	2.2	149,665	-0.7	1.496	45	47	15	9	21
9月	101.9	2.0	150,667	-0.6	1.473	56	55	17	22	17
10月	101.1	1.3	149,677	-1.1	1.474	56	55	19	17	20
11月	101.0	1.3	150,005	-0.4	1.469	53	40	19	17	17
12月	101.0	0.8	151,631	-0.6	1.452	47	66	8	19	20
24年 1月	100.9	0.3	150,149	-0.9	1.452	56	102	14	19	23
2月	101.1	0.4	149,482	-1.3	1.442	54	173	17	23	14
3月	101.6	0.3	152,152	-1.3	1.428	49	49	15	23	11
4月	101.7	-0.4	150,310	-0.6	1.424	45	128	14	14	17
5月	101.2	-0.7	150,352	-0.3	1.421	45	601	16	18	11
6月	100.5	-1.4	150,636	0.3	1.409	53	97	18	25	10
7月	100.0	-2.2	150,531	-0.1	1.403	62	138	16	28	18
8月	r 100.2	-1.9	150,189	0.3	1.401	61	41	22	22	17
9月	p 100.5	-1.4				43	63	15	14	14
10月										
11月										
12月										
資料	日本銀行				(株)東京商工リサーチ 神戸支店					

* p は速報値 r は確報値